

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ 市議団ニュース

<第1回定例会>

2018年3月9日

No. 182

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221 / fax 218-5124

除雪作業中の事故は二度と起こしてはならない ——安全確保の徹底を！

平岡大介議員が質問

日本共産党の平岡大介議員は7日、予算特別委員会で東区と清田区で発生した除排雪中の事故とワンオペレーション（1人作業）除雪について質問しました。

1月30日、東区で除雪作業中に誘導員がバックしてきた除雪車にひかれ死亡しました。

平岡議員は、「こうした事故は二度と起こしてはならない」とのべ、事故の原因が単に不注意ということではなく過酷な労働環境などの問題はなかったのかとして、「誘導員の直近の勤務状況はどのようになっていたのか」「作業に見合った人員配置だったのか」とたどしました。

荻田雪対策室長は、「人員配置は類似作業を上回っており、清田区の誘導員は週6日、1日平均10時間勤務をしていた」とのべました。

平岡議員は、「清田区の誘導員が10時間労働というのは、非常に寒いなかでの過酷な状況で、注意力の低下や判断力ミスの可能性も高まるのではないかと指摘。また、排ガス規制などで1人乗りの除雪グレーダーしか生産されなくなる問題で、「1人乗りのワンオペレーションではベテランが隣に座って若手を直接指導することができなくなる、どう考えているのか」と質問。荻田室長は「引き続き2人乗りに搭乗することで技術の継承に努めるが、将来的には若手の育成をどのように行っていくかは課題」とのべました。

平岡議員は、今後、仕様書や安全マニュアルを見直すというが、除雪作業でのグレーダー操作は、降雪時など人とクルマが行き交うなかで行い、夏場の工事現場とは状況が全く異なるとのべ、安全確保の徹底を求めました。

大通公園のトイレ（全5棟）にトイレトペーパー が設置に！——共産党がくり返し取り上げ実現

田中啓介議員が質問

日本共産党の田中啓介議員は7日、予算特別委員会で公園トイレのトイレトペーパー設置について質問しました。

共産党は、大通公園などのトイレにトイレトペーパーを設置するようくり返し求めてきました。田中議員は、「昨年の委員会質疑で『本市の顔ともいえる大通公園のトイレにトイレトペーパーがないのはおかしい、設置すべき』と求めたのに対し、5カ所あるトイレのうち3カ所で試行的に設置したとのべたが、その結果はどうだったのか、今後どう取り組んでいくのか」とたどしました。

東山みどりの管理担当部長は、「3棟で実施したが、トイレトペーパーのストック切れやホルダーの破損などのトラブルはなかった。コストは3棟で約80万円と見込まれる」とのべ、「今後は大通公園の全5棟のトイレに常時設置していきたい」と答弁しました。

田中議員は、「大通公園と合わせて、文化的観光スポットでもある中島公園やモエレ沼公園などにも設置すべき」と求めました。